

【2019年度の大会結果報告】

地元はじめ多くの方々の

ご声援ありがとうございました。

本年度（2019年：令和元年）の公式日程が終了いたしました。大会ごとに結果をご報告します。

【春季大会】

1回戦 対 綾羽 2対9 敗退



2018年度春季大会に続いての対戦でしたので、何とかリベンジを果たしたいと考えておりましたが、勝利を収めることができませんでした。例年実施しております関東遠征では、自分たちの実力以上のチームとの戦い方を勉強することができ、よい準備ができたと思っていました。しかし、日ごろの練習では気付かなかった欠点が出てしまい、実力を出せずに大会を終えました。

（体育後援会会報より抜粋）

【選手権滋賀大会】

1回戦 対 八幡 6対0 勝利

2回戦 対 米原 2対3 敗退



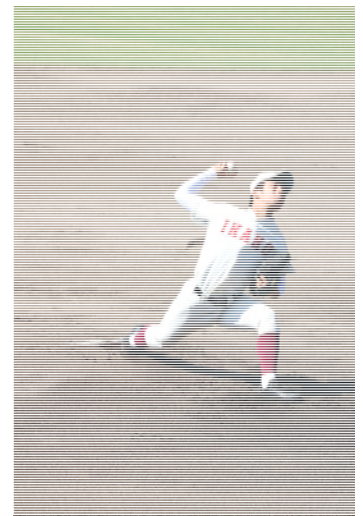
選手は少し緊張した雰囲気の中、初戦の八幡高校戦では2年生藤井大智投手の活躍で勝利することができた。序盤から相手打線を抑え、無駄な失点を抑えながらチャンスで確実に得点を重ねる伊香高校らしい勝利であった。公式戦で初先発の藤井が重圧のかかる大会緒戦で成長を見せてくれた。

2回戦は米原高校との対戦であった。好投手を中心にまとまりのある米原高校を打ち崩すことができず、悔しい敗戦となった。この大会で引退した3年生には大きな期待が寄せられており、選手もその期待に応えようと努力をしてきたので、2回戦での敗退は選手には厳しい結果となった。3年生はチーム内での工夫や改善を積極的に行い、主体的に取り組むチーム作りに取り組んだ学年であった。この先輩たちが播種（はしゅ）したチームの願いを、後輩がしっかりと受け継いでいきたい。

(学校新聞原稿より抜粋)

【秋季大会】

1回戦	対滋賀学園	0対1	勝利
2回戦	対滋賀短附	5対0	勝利
準々決勝	対瀬田工業	4対3	勝利 (延長12回)
準決勝	対近江	1対0	敗退 (延長11回)
3位決定戦	対綾羽	0対2	敗退 ベスト4



今年度の秋季大会は非常に粘り強く戦うことができた。その要因は3年生部員が取り組んだ自主的・主体的な練習への改革が成果を出し始めたこと、部員自身も人間的な成長ができたことが要因であった。今大会で主戦を務めた隼瀬と、選手権大会で主戦を務めた藤井大智の力投を中心に、僅差のゲームで勝利することができた。この数年、失点の少ないチーム作りを目指してきたことが実を結んだ大会であった。また、連日の延長戦となった準々決勝の瀬田工業戦、準決勝の近江戦では、3校の選手が全力を尽くし戦い、試合終了後にはお互いの健闘を称賛しあう高校生らしい姿も見られた。

現在、野球部は22名(1・2年それぞれ9名、男女マネージャー4名を含む)が在籍している。練習以外にも毎週木之本駅からの通学路や、近隣の認定こども園など地元諸学校の通学路の清掃も毎週行っている。





11月13日に決定！

「21世紀枠」滋賀県推薦校に
選ばれました。